

桜川市まち・ひと・しごと創生総合戦略

-農・ヤマザクラと共に自活し 繋がる暮らしづくり-

(案)

桜川市

○目指す将来像

日本を代表する「ヤマザクラの里」の再生

国内外から さくらがわ=ヤマザクラ ヤマザクラ=さくらがわ と連想されるまち

○基本目標

次の基本目標に沿って、本市の地域創生に資する施策を推進します。

- ・基本目標 1 基盤産業を伸ばす
 - 農業を活性化させる
 - さくらがわの特性を活かしたしごとを創る
 - 持続可能なしごとをつくる

【重要業績評価指標（KPI*）】

- 市内総生産額（H31：130,000 百万円）

- ・基本目標 2 交流人口を増やす
 - 地域資源を活かし人の流れをつくる
 - 市民とのふれあいによりさくらがわファンを増やす
 - 心に残るまちをつくりリピーターを増やす

【重要業績評価指標（KPI）】

- 観光客入込客数（H31：500,000 人）

- ・基本目標 3 移住定住を促す
 - 若者が住みたいまちをつくる
 - 子育てしやすいまちをつくる
 - 住民が主役のまちをつくる

【重要業績評価指標（KPI）】

- 社会動態（H31：-260 人／年）

○戦略の期間

本戦略の期間は、2015（平成 27）年度から 2019（平成 31）年度までの 5 年とする。

○PDCA サイクルの確立

重点業績評価指標（KPI）に基づき、取り組みの評価・検証を定期的を実施し、毎年度、必要な見直しを行うものとする。

また、評価・検証は、多様な主体で構成する外部委員会にて実施するものとする。

* KPI: Key Performance Indicators の略。住民の便益（アトカム）に関する数値目標を設定する。

○アクションプロジェクト

1. 稼ぐ農業づくり推進プロジェクト

【重要業績評価指標（KPI）】

- ①農業所得総額
- ②ブランド農産品認定件数
- ③6次化による加工品開発件数
- ④デュアルシステム*を活用した高校生数

【施策】

1.1 農業の成長産業化

本市が誇る農産物のブランド化、魅力ある農産物加工品の開発、誇れるものづくりに取り組んでいる農業者のマイスター認定により、付加価値の高い農産物づくりを進めます。また、広域・国外と連携し、新規販売ルートを開拓すると共に販売の拠点をつくります。

1.2 農業の担い手の育成・確保

本市の農業を支える担い手づくりの育成・確保、新規就農者の支援を進めます。また、遊休農地の活用方法を研究し、新たな農地の守り人づくりを目指します。

1.3 茨城県立真壁高等学校との連携

県立真壁高校との官学連携を活かし、農業の後継者、高度人材を育成すると共に、桜川市が誇る高品質農産物及び農産物加工品の開発に取り組みます。

【事務事業】

- ブランド農産品開発事業
- 農産物加工品開発事業
- 農業マイスター認定事業
- 農産物PR事業
- 農産物直売所開設事業
- 農産物新規販路開拓事業
- イノシシ（有害鳥獣）対策事業
- 新規就農者支援事業
- たい肥づくり事業
- 農業担い手育成事業
- 農業後継者育成事業

*デュアルシステム：実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして、企業等での実習と学校での講義等の教育を組合せて実施することにより若者を一人前の職業人に育てる仕組み

2. さくらがわ地域 DMO*形成プロジェクト

【重要業績評価指標（KPI）】

- ①桜川市地域 DMO 準備検討会参加団体数
- ②観光客入込客数
- ③お土産品開発件数
- ④ブランド化製品数

【施策】

2.1 ヤマザクラの活用

日本を代表するヤマザクラの里の再生を目指し、ヤマザクラの史実調査、保護・育成はもとより、その活用について検討、実施します。

2.2 「真壁の歴史的町並み（重要伝統的建造物群保存地区）」の活用

おもてなしの向上と町並み整備により誘客を図ります。また、登録文化財空き家を事業拠点として整備します。

2.3 自転車専用道路「つくばリンリンロード」の活用

茨城県、県内市町村と連携して日本一のサイクリング環境の整備を進めます。また、民間事業者と協働でサイクリスト向けの商品、サービスを開発します。

2.4 日本三大産地の石材業の支援

八溝山系の山々から産出される良質な花崗岩（御影石）を PR するとともに、市内外への石材活用を石材業界と一体となって検討します。

2.5 公共交通網の整備

来訪者の移動性向上のため、近隣自治体と連携して公共交通網を整備します。

【事務事業】

- 桜川市地域 DMO 準備検討事業
- ヤマザクラ調査・保護・育成事業
- 森林資源活用事業
- 地域固有産品ブランド化事業
- 地域農産物加工品開発事業
- 地域資源案内ガイド養成事業
- 公共交通網整備事業
- サイクリングによる観光促進事業
- ヤマザクラグルメ開発事業
- 登録文化財旅館活用事業
- 登録文化財空き家活用事業
- 石材活用検討事業
- ジオパーク推進事業
- 石のまち P R 事業

* DMO : Destination Marketing / Management Organization の略で、地域全体の観光マネジメントを一本化する、着地型観光のプラットフォーム組織を指す。

3. さくらがわ生涯活躍のまち（CCRC*+α）プロジェクト

【重要業績評価指標（KPI）】

- ①新規雇用者数
- ②交流人口
- ③移住者数（市外、市内から）
- ④域内消費額

【施策】

3.1 新街区の開発

病院とショッピングセンターを中核としつつ、スポーツ、健康、運動、介護、子育て、教育、住宅などの機能を一体的に整備します。

3.2 桜川市立病院の整備

桜川を中心とした地域に必要な急性期から在宅医療までの連携の拠点を構築します。

3.3 健康増進プログラムの展開

周辺地域の資源を活用した健康増進プログラムを開発し提供します。

3.4 民間事業者との連携

民間事業者との MOU*締結により官民協働で CCRC を含めた大和駅北地区の総合的なまちづくりを推進します。

【事務事業】

- 生涯活躍のまち（CCRC+α）に関する事業性検討事業
- クラインガルテン整備事業
- 若者・女性応援事業
- マルシェ開設事業
- 桜川市立病院整備事業
- ボランティア推進事業
- 健康プログラム開発事業
- 音楽のまちづくり事業
- 生活支援協議体配置事業
- スマートモビリティ*導入事業
- 海外人材交流事業

* C C R C : 日本版 CCRC は、「東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり」を目指すもの。

* M O U : Memorandum of Understanding の略。覚書のようなもので二者間の理解や大筋で合意する内容などをまとめたもの。

* スマートモビリティ : 先進技術や革新的な発想を用い、安全快適で環境にもやさしい移動のこと。

4. 集落自治推進プロジェクト（小さな拠点*形成）

【重要業績評価指標（KPI）】

- ①里づくり事業を検討している地区の数
- ②空き施設の活用件数
- ③公共交通（バス・デマンドタクシー）の利用者数

【施策】

4.1 田園集落里づくりの推進

身近に感じる単位での課題解決に向け、行政区を基本単位として、住民の発意による里づくり事業を推進します。

4.2 住民自治の推進

里づくり事業を住民が自ら考え実現することで、自治力を高め、行政区のコミュニティ機能を維持します。

4.3 拠点地区間の移動性の確保

拠点となる行政区を位置づけ、日常生活機能を担う施設等を整備するほか、市街地や公共施設等を結ぶ公共交通を整備します。

【事務事業】

- 田園集落里づくり事業
- 市民の交流の場づくり事業
- 公共交通網整備事業（市民の移動性の確保）
- 婚活事業
- 三世代交流事業
- 空き家対策事業

*小さな拠点：小学校区など、複数の集落が集まる地域において、商店、診療所などの生活サービスや地域活動を、歩いて動ける範囲でつなぎ、各集落とコミュニティバスなどで結ぶことで、人々が集い、交流する機会が広がっていく。新しい集落地域の再生を目指す取り組み。

5. 行財政改革プロジェクト（1.～4.を支える基盤づくり）

【重要業績評価指標（KPI）】

- ①自主財源比率
- ②見直した事務事業数
- ③人事で連携した自治体数

【施策】

5.1 合併算定替への対応

合併から10年を経過したことによる普通交付税の段階的削減に的確に対応し、持続可能な財政運営を図ります。

5.2 外部人材を活用したPDCAマネジメントサイクルの確立

総合戦略、総合計画の検証、進捗管理に外部人材を活用し、民間人等の視点と知見を業務改善に活用します。

5.3 職員のスキルアップの推進

課題解決に向けて、的確に対応できる職員を増やすため、民間企業等との連携により人材を育成します。

5.4 広域職員連携による課題解決の導入

多様化する市民ニーズ、行政課題に的確に対応するため、他自治体等との人事交流による先行・優良事例の取り入れ、様々な視座からの課題解決を進めます。

【事務事業】

- 民間活力導入事業
- 外部評価導入事業
- ふるさと納税強化事業
- 女性活躍推進事業
- 職員スキルアップ事業
- 人事交流広域連携事業